

# 「異界へのまなざし」

私たちは「今、ここ」を生きながらも、時に「ここではないどこか」へと誘われる時があります。現(うつつ)と幻。意識と無意識。今世と来世。此岸と彼岸。そうした今の世界とは異なる世界は総じて「異界」と呼ばれます。今回の連続セミナーでは、かつて異界と呼びならわされてきたさまざまな「あちら側の世界」を、宗教、喪、精神分析、民俗伝承、ジェンダーといったさまざまな学問的トピックと絡めて語り直すことを試みます。日常性に潜む異相に目を向け、それらの間(あわい)を行き来しながら生きる術(すべ)について、今だからこそ新たに考えてみませんか。

<p>第1回</p> <p>5月18日(金) 14:00~15:30</p> <p>JD-104</p>	<p>日常のそばにある『異界』：幻想と現代詩</p> <p style="text-align: right;">文学部英文学科 古村 敏明 先生</p> <p>現代アメリカ詩は日常を描く文学です。しかし、そこで描かれる日常は見慣れたものばかりでなく、異形や幻想に満ちた空間でもあります。歯医者さんの待合室にいる時間に溶け込んでくる未開地の原住民、父親が入っていたトイレを誤って開けたときに迷い込む青空のヘアピンカーブの山道、調理中に切ってしまった指の傷から見えてくる流血の歴史。私達が「今、ここ」を生きながらも誘われてしまう、日常と隣り合わせの様々な異界を探検します。</p>
<p>第2回</p> <p>5月25日(金) 14:00~15:30</p> <p>JD-104</p>	<p>夢見手との出会い：精神分析の経験</p> <p style="text-align: right;">人間科学部心理・行動科学科 吾妻 壮 先生</p> <p>精神分析の創始者フロイトは、夢は抑圧された願望を充足するためのものだと考えました。そして、人間の無意識的世界の謎を解くための夢分析の方法を考えました。その後、夢の精神分析的理解は変わってきています。最近では、夢は生きられていない自己を表現するものだと考えられるようになってきています。精神分析を通して夢見手といかに出会うのか—今回はそのことについてお話をしたいと考えています。</p>
<p>第3回</p> <p>6月1日(金) 14:00~15:30</p> <p>JD-104</p>	<p>異界からの帰還：神話・ファンタジーから考える</p> <p style="text-align: right;">院長 飯 謙 先生</p> <p>古代オリエントやギリシア、また日本の神話(作者不詳の文学)には、異界・冥界からの帰還者が神や英雄とあがめられ、崇拝の対象とされていく例がいくつも観察されます。他方、近年のファンタジー(広義の神話)では、異界訪問者が神とも英雄ともされることもなく、読者はある種の教訓を読み取るよう導かれます。それらの物語群を「支配」や「共有」などに分類し、日常的な固定観念からの解放を考えるコードをさぐります。</p>
<p>第4回</p> <p>6月8日(金) 14:00~15:30</p> <p>JD-104</p>	<p>私の中の『異界』に出会う：介護民俗学の世界から</p> <p style="text-align: right;">文学部総合文化学科 奥野 佐矢子 先生</p> <p>大学教員を辞め、介護の仕事へ——異例の転身を経て、気鋭の民俗学者が飛び込んで見た介護の世界。そこで出会ったのは、老い、ケアされながら生きていく弱者としてのお年寄りではなく、彼ら大正一桁や明治生まれの人々が語る、日本の近代化の舞台裏についての鮮明な体験談や記憶の蓄積でした。それら貴重なデータの「聞き書き」調査を通じて見えてきたものとは何か。民俗学の世界と介護の世界の交叉が照らし出す、新たな可能性について探ります。</p>

【受講資格】 一般成人・学生 【受講料】 無料 【申込】 事前申込不要



【主催】 神戸女学院大学  
女性学インスティテュート  
TEL : 0798-51-8545  
e-mail : wsi-o@mail.kobe-c.ac.jp

〒662-8505 西宮市岡田山4-1 [JD館3F]  
URL <http://www.kobe-c.ac.jp/gender/>

【後援】 西宮市